

GPS 安全性要約書

トリメックス N-08NB

この製品安全性要約書は、一般社会へ化学物質の安全性情報の概要を提供するものです。この文章は、サプライヤーから提供される、用途毎に推奨される詳細な安全措置について記載されている安全データシート（Safety Data Sheet）に代わる文書として作成されたものではありません。また、製造者から提供される、この物質を含む消費者製品の使用説明書や警告に代わるものとして作成されたものでもありません。記載内容は、現時点で入手できる法令、資料、情報、データに基づいておりますが、いかなる保証をなすものでもありません。

1. 物質の特定名

商品名: トリメックス N-08NB

化学名: 1,2,4-Benzenetricarboxylic acid, decyl and octyl triester

CAS 番号: 67989-23-5

2. 使用・用途と適用

トリメックス N-08NBはトリメリット酸ベースの可塑剤です。チューブやケーブルのようなプラスチック成型品等に使用されています。

トリメックス N-08NBは工業用としては、ポリ塩化ビニルコンパウンド、潤滑剤やインクの処方化、複合ケーブルや塗布、シーリング材や接着剤の製造用として広く利用されています。

3. 物理化学的特性

この物質に物理化学的危険性は認められません。

特性	値・性状
物理的状態	粘稠な液体
色	微黄色透明
臭い	ほとんど無臭
pH	データ無し
密度	0.982 g/mL (20 °C) 、0.974g/mL (30 °C) 、 0.967 g/mL (40 °C)

融点（流動点）	情報無し
沸点	430 °C
引火点	278 °C（クリーブランド開放式測定器）
可燃性 または 爆発性	上限：情報無し 下限：情報無し
自然発火温度	情報無し
蒸気圧	情報無し
水への溶解性	不溶
オクタノール／水分配係数（Log Kow）	情報無し
粘度（粘性率）	120 mPa・s（20 °C）、45 mPa・s（40 °C）、 20 mPa・s（60 °C）

4. ヒト健康影響

入手可能な実験データから、トリメックス N-08NBはヒトに対して有害性は示さないと考えられます。

アセスメント項目	結果
急性毒性：経口/経皮	実使用上、経口/経皮暴露後の毒性はありません。単回暴露後に、特定の臓器に対して毒性を示すこともありません。
刺激性/腐食性：皮膚/眼	入手可能なデータから、皮膚や眼への刺激性はないと考えられます。
感作性	入手可能なデータから、皮膚感作性はないと考えられます。
繰り返し暴露による毒性	入手可能なデータから、繰り返し暴露による毒性は低いと考えられます。
遺伝毒性	入手可能なデータから、遺伝毒性はないと考えられます。
発がん性	入手可能なデータから、発がん性はないと考えられます。
生殖発生毒性	入手可能なデータから、生殖発生毒性は示さないと考えられます。

5. 環境影響

入手可能な情報から、水生生物に対する毒性試験において、トリメックス N-08NBは有害な影響はないと考えられます。本物質は本質的に生分解性を有します。

また、PBT/vPvBには該当しないことから、食物連鎖における濃縮は起こらないと考えられます。

アセスメント項目	結果
水生毒性	水溶解度の範囲において、有害な影響は観察されません。
生分解性	本質的に生分解性があります。
PBT / vPvB 注)	PBT/vPvBには該当しません。

注)

PBT = Persistent, Bioaccumulative and Toxic（残留性・蓄積性・毒性を有する物質）

vPvB = Very Persistent and Very Bioaccumulative（高残留性・高蓄積性を有する物質）

6. 暴露

消費者

消費者は、チューブやケーブルのようなプラスチック成型品の使用によりトリメックス N-08NBに接触する可能性があります。これらの用途におけるトリメックス N-08NBの濃度は有害な影響が懸念されるレベル以下です。推奨される用途で使用される場合、常に使用前に製品情報を参照し、ラベルや能書に記載されている使用上の注意に従ってください。

作業員

トリメックス N-08NBの生産設備や多くの取り扱い設備では、この物質による暴露が発生します。また、この物質を取り扱うメンテナンス、サンプリング、テストや他の作業においても暴露されます。教育を受け訓練された作業員のみが、（希釈されていない）この物質を取扱います。各製造設備では、不必要な暴露を避けるためにゴーグルや手袋などの安全防具の設置と共に、作業員向けの訓練プログラムや適切な作業手順を定めています。安全シャワーや眼を洗う設備はすぐそばに設置されています。作業員はSafety Data Sheetに記載されている応急措置に従う訓練を受けることが求められます。

環境

トリメックス N-08NBの製造は、環境に排出されるような水や大気への流出が無い閉鎖系で、かつ自動化されたプロセスです。トリメックス N-08NBは、環境にとって許容できないリスクをもたらすとは考えられません。また、この物質は排水処理工程で取り除かれると考えられます。僅かな量が表層水に残存しても、長期間環境に残存することはないと考えられます。

7. 推奨リスク管理措置

推奨リスク管理措置の詳細については、**Safety Data Sheet** を参照して下さい。

化学物質を使用する際には、適切な換気がなされていることを確認して下さい。手や皮膚の保護のために適切な耐化学薬品手袋を常に着用し、眼の保護具を装着して下さい。化学物質の取扱い、処理、保管をする場所では、飲食・喫煙をしないで下さい。化学物質に接触した後は、手や皮膚を洗って下さい。皮膚（または髪）に付着した場合、多量の水と石鹸で洗って下さい。眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗い、次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けて下さい。皮膚刺激、眼刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けて下さい。

この物質を含む排水は、この物質を除去するため、排水処理設備を通さなければなりません。大気中への放出は予想されないため特別な措置は必要ないと考えます。

8. 法規制情報/分類・ラベル情報

GHSに基づき、化学物質はその物理特性、ヒト健康、環境への危険性に従って分類されています。この危険性の情報は、工業製品では、特定のラベルと**Safety Data Sheet**によって伝達されています。GHSでは化学物質の暴露が想定される対象者（作業員、消費者、輸送業者、緊急時の対応者）が、扱う化学物質の危険性をより理解ができるように努めています。

分類・ラベル情報

この物質は、ヒトや環境に有害な影響を及ぼす物質に分類されません。

製造、販売、輸送、使用、廃棄に関わる法令は、国や地域によって異なります。詳細についてはサプライヤーから提供される**Safety Data Sheet**を参照して下さい。

9. 結論

トリメックス N-08NBは生産現場において管理された状況下で使用されています。トリメックス N-08NBの生産や使用は、**Safety Data Sheet** に従って取り扱いを行う限り、ヒトや環境へのリスクをもたらしません。

消費者はこの物質原体そのものには接触せず、希釈された状態で使用されることから、ヒト健康に有害な影響を及ぼす懸念はないと考えられます。

10. 連絡先

この物質・安全性要約書に関する、詳しい情報については以下にお尋ね下さい：

会社名、部署	花王株式会社、ケミカル事業ユニット
電話番号	03-5630-7601
ファックス番号	03-5630-7964
電子メール	chemical@kao.co.jp

追加・関連情報に関しては国際化学工業協議会のポータルをご覧ください。

(<http://www.icca-chem.org/>)

11. 用語集

急性毒性	単回暴露による有害な影響
生分解性	環境における物質の生物学的分解性
生物濃縮性	環境における物質の濃縮性
発がん性	がんを引き起こす作用影響
慢性毒性	繰り返し暴露による有害な影響
GHS	化学品の分類と表示に関する国際調和
ハザード	ヒト健康や環境への有害性
変異原性	遺伝子に変異をもたらす影響
生殖毒性	催奇形性、胚毒性及び、繁殖性への有害な影響
感作性	アレルギー誘発性

12. 発行日

2017年12月22日